

ト 219 足え、医 ベンヤ

日本大学総合歯学部

舌に異常はないのに粘膜や

射による治療が有効です。

「三三」今関脩竹

一本の筆であらゆる可能

環境親のられ置す生む

りや て当 はな も大 換し

朗読サークル「新・みちの会」は今年9月に設立19年を迎える。勝田台文化センターで10日(土)、朗読会を開催する。

毎年行っていた朗読発表会がコロナのため中止となり、今回は3年ぶりの開催。会員は16名、月2回八千代台公民館で定期練習を行っている。

指導と演出は八千代市在住の東百道さん(76)。県内と都内で合わせて5つの朗読サークルを指導する朗読理論について数多く

の著書もある。「新・みちの会」は、東さんが設立当初から指導してきた。今回の公演のように、内容の深い作品を会員がリーダー形式で読み継いでいく方式は、力のある会員にしか出来ない。年齢も性別も経験年数も違う会員たちが一つの物語を朗読する形式は難しいが、作品への共通イメージを持ちながら朗読することで一体感が生まれ、しかも聞き手を飽きさせない。と東さん。

八千代朗読サークル「新・みちの会」朗読発表会

『ユタとふしぎな仲間たち』(三浦哲郎原作)

勝田台文化センター 10日(土) (八千代市)



自主練習を行う「おおわだシード」のメンバー

東さん指導の第一期生であり、設立当初からの会員、江本なつみさん(87)は、東さんが「日本の朗読界でも超一流」と語る人物。自主練習の後輩への指導は言葉一つ一つのイントネーションから作者の意図までを深く読み込んだ力強くも細やかなもの。今回の演目は田舎に引っ越してきた都会の男子ユタが、座敷わらしとの出会いを通して成長していく物語。「一見すると童話仕立ての物語のようにだが、内容は深い。過酷な現実が背景にあつて、単純には解釈出来ない」と、メンバーの皆さん。

会員が紡ぐ、色彩豊かな朗読の声の糸が、どんな布を織り成すのか楽しみ

第34回佐倉葉友協会 定期演奏会
希望のコンサート
10月1日(土)14時開演
勝田台文化センター
曲目はシューベルトのピアノソナタD959、ヘンデルのアリア「この胸に息のある限り」、マラーのピアノ四重奏曲「短調」ほか。出演は大熊力オル横口めぐみ、野野剛士ほか。会場は京成勝田台駅から徒歩4分。
チケット全席自由1000円。
チケット予約 sakuramusikverein2@yahoo.co.jp
043-462-2923(大熊さん)。
10日(土)13時30分開演。入場無料。
会場：勝田台文化センター3Fホール。
▽問 043-253-4977 (事務局・小畑さん)。

近代千葉の書 千葉県書道協会役員展
10月16日(日)まで
成田山書道美術館

近代に遺された千葉の書に注目、千葉ゆかりの作家の作品を展覧。犬養毅、勝海舟、高浜虚子の作品などを展示。

千葉県書道協会役員展も同時開催。同協会は1947年設立、千葉の書の源流を受け継ぐ存在。戦後70年以上、県下の作家が参加、活発に活動している。今回は120人の協会役員の書を展覧。その魅力を紹介します。

会場：時間・成田山書道美術館。9時~16時(入館は15時30分まで)。
休館日：月曜(月曜が祝日の場合開館、翌平日休館)。
入館料/大人500円、高・大学生300円、中学生以下無料。
▽問 0476-24-0774。

東葛しぜん観察会
「フジバカマの里と国府台を歩く」
23日(祝・金) 市川市

市川市国府台の往復約3キロの散策路を歩き、稀少となった秋の七草の「フジバカマ」を初め、秋の草花、樹木、虫との出会いを楽しむ。

東葛しぜん観察会は2000年設立、(公財)日本自然保護協会に登録する自然観察指導員のグループ。自然観察を通して、生

物の多様性を維持する自然の保全と自然保護の普及に努めている。

▽日時：9月23日(祝・金)9時30分~12時(雨天中止)。
▽場所：国府台駅~江戸川沿いの散策路「フジバカマの里」。
▽集合：京成線「国府台駅」改札口9時30分。

▽参加費：2000円(保険資料代)小学生以上。
▽募集：先着30名(事前申込み必要)。
▽服装：蜂除けのため、白っぽい服装、帽子。
▽持ち物：飲み物、タオル(熱中症予防)。
▽問・申し込み：080-7963-4910。yamamasai567@gmail.com (代表・山口正明さん)。

脩一朗会 40周年記念公演
原田直之・久保木脩一朗・風間杜夫
スペシャルライブ ~和の響宴~
25日(日) 八千代市市民会館



民謡 原田直之

津軽三味線 久保木脩一朗

落語 風間杜夫

稀代の津軽三味線奏者、久保木脩一朗が主宰する津軽三味線会派「脩一朗会」の創立40周年記念の特別公演が25日、開催される。

久保木脩一朗率いる「脩一朗&大地」による津軽三味線はもちろん俳優、風間杜夫の落語とトークショー、民謡界の巨匠、原田直之による民謡ショーなど、この日限りのスペシャルステージ。脩一朗は原田直之と共演。

午前中は脩一朗会連合の津軽三味線と民謡の発表会。舞踊の披露もある。チケットは各プレイガイドで好評販売中。

▽出演：久保木脩一朗(津軽三味線)、脩一朗&大地、原田直之(民謡)、風間杜夫(落語)他。

▽期日：9月25日(日)。開場10時、開演10時30分。(ゲストショーは14時開演予定)。
▽料金：全席指定3500円(税込)。
▽会場：八千代市市民会館大ホール(東葉高速線「八千代中央駅」または「村上駅」徒歩10分)。(プレイガイド)。
▽八千代市市民会館 0474-833-5111。
▽勝田台文化センター 04-4833-2141。
▽八千代台文化センター 0474-821-1833。
▽アオイチケット (オンライン) <http://www.aoi.jp/aol/> (会員登録不要)。
▽問 03-3585-6178(平日11時~16時)「アオイスタジオ」。

ふれあいプレゼント
久保木脩一朗・原田直之・風間杜夫
スペシャルライブ ~和の響宴~
25日(日)14時開演。八千代市市民会館。(記事参照)。
▽問 03-3585-6178 (平日11時~16時)「アオイスタジオ」。

8月30日(火)リニューアル新発売
キリン 生茶 ほうじ煎茶
525mlペットボトル
茶葉のブレンドを見直し、ふわりと香ばしく、余韻かるやかなおいしさに進化。ほうじ茶らしい上品な香ばしさを楽しめます。
24本入り 3名様
▽商品に関する問い合わせ キリンビバレッジ株式会社 お客様相談室 (フリーダイヤル) 0120-595955 <https://www.kirin.co.jp/softdrink/>
希望商品名、〒住所・氏名、電話番号を明記して「東葛毎日新聞社」ホームページ <https://bunya.ne.jp/>「今月のプレゼント」から応募。fureai@bunya.ne.jpへメール応募も可。
●応募締め切り=9月14日必着。
●当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

ホームで迎え撃つ、9・17川崎戦!
9月17日土曜19時から、川崎フロンターレ戦。昨年の王者を迎え撃ちます。川崎は新型コロナウイルスの影響で過密日程を強いられているなど、ここ数年の圧倒的な力こそ見せられていませんが、その戦に持ち込めるかが勝負の分かれ目です。川崎は、後半戦に入り得点を量産して、DF高橋祐治選手やDF古賀太陽選手、FW武藤雄樹選手が活躍しています。

一方、今季のレイソルは、DF高橋祐治選手やDF古賀太陽選手、FW武藤雄樹選手が活躍しています。

試合のチケットは、オンラインで発売中です。ぜひ日立台のスタジアムで、この上位対決を応援ください!
(柏レイソル広報) <https://www.reysol.jp/>

矢路川結子の おうちごはん
ココカラエガオ食堂
「ココロ」と「カラダ」が笑顔になる
ココカラエガオ研究所

糍トマトミートご飯
まだまだ暑さが残るこの時期、甘酒を使った栄養たっぷり簡単ミートソース!はいかがですか。ご飯にも、パスタやパンにも合うので色々なお料理に使えます。

材料(4人前) 作り方
合い挽き肉 200g ○ウスターソース 大さじ1/2
玉ねぎのみじん切り 中1個 ○トマトケチャップ 大さじ1
カットトマト缶 300g ○甘糍(または甘酒) 70g
ミックスビーンズ 150g ○醤油 大さじ1
ピザ用チーズ お好みの量
オリーブオイル 大さじ1
塩こしょう 適量

- フライパンにオリーブオイルをひき、合い挽き肉と玉ねぎを入れ、塩こしょうをして炒める
- カットトマト缶とミックスビーンズと○の材料をいれ、中弱火で10分程度煮込む。
- お好みの量のチーズを入れ完成。

専門講師が同行する学びのカルチャーツアー「風来人」
目からうろこの小林流・文化遺産探訪
500万本のヒガンバナに彩られた渡来人の里 高麗郷
同行講師/小林祐一氏(旅と歴史のプロ・ナビゲーター、日本歴史学会、日本城郭学会、交通史学会会員)

今から約1300年前、高句麗からの渡来人を住まわせたのが武蔵国高麗郡の高麗郷。古代朝鮮文化の香りを伝える歴史の里を訪ねます。ここはまた、500万本が咲く日本最大級のヒガンバナ群生地として知られています。「続日本記」に記された歴史と花の里をめぐる。

出発日 9月22日(日) (日帰り)
旅行代金 18,800円 (おひとり・税込) ※バス1名2座席利用5,000円増し

コースNo. 【F027X-53】
◆コース/東京駅9時発=〈貸切バス〉=出雲伊波比神社(埼玉県内最古の神社建築、国指定重要文化財)=高麗神社=高麗家住宅(埼玉県内最古の茅葺民家、国指定重要文化財)=昼食(高麗川:日本料理 あさひ「あさひ御膳」)=高麗山 聖天院=きんちゃく田(ヒガンバナ群生地)=東京17時30分頃着 ◆食事:昼 ◆貸切バス:東葉観光バス ◆添乗員同行 ◆最少催行人員:15名

◆申し込み/毎日新聞旅行「ふれあい」係 (10時~16時、土日祝休み) 後援:東葛毎日新聞社
03-6265-6966